

【単元①】 ぶしぎ 金子みすゞ

『ぶしぎ』の内容を理解しよう。

●次の1～5の手順に沿って学習を進めよう。

1 詩を音読しよう。(教科書P14～17)

2 作者(金子みすゞ)について調べたことを書きましよう。※便覧にも載っています。

3 詩を読んで気がついたことを書きましよう。

4 『ぶしぎ』の内容の空欄①～⑩に入る語句を、便覧(P176)を参考に考えましよう。

・詩の一つのまとまりのことを ① ( ) としよう。

・語順を変えて意味や印象を強めることを ② ( ) としよう。

・同じ言葉を繰り返し、印象を強めることを ③ ( ) としよう。

・和歌や歌謡、詩などで七音句・五音句の順に繰り返す形式を ④ ( ) としよう。

・この詩の形式を ⑤ ( ) としよう。

・一しつ目と二しつ目のまとまりで対比をわけているものを考えて書こう。

《一しつ目》⑥ ( ) と ( ) 。

《二しつ目》⑧ ( ) と ( ) 。

・「わたし」がぶしぎに思っていることが本文中にうつり出しているか。数字で書こう。

⑩ ( ) 個

5 作者の『ぶしぎ』にならうとして、自分がぶしぎに思っていることを、うつつか筆ってみましよう。

※答え合わせは学校再開後に行います。

## 一学年 国語 課題プリント②

### 【単元②】 音を追いかけて

まはら三桃

『音を追いかけて』の内容を理解しよう。

●次の1、2の手順に沿って学習を進めましょう。

1 本文（教科書P20～25）を音読しましょう。

2 次の問いについて考えてみましょう。

問1「出だしが遅れるなんて、小学校時代にさえなかったこと」(p22、2行目)について未来はどのように感じているか。本文の中から抜き出そう。

問2「それより、もっと自信をもてよ。」(p23、3行目)という先輩の言葉から、未来がミスを重ねてしまう理由を想像して書こう。

問3どうして「マーチングクラブで、未来と咲は同級生の誰よりも早くレギュラーになった」のだろう。その理由に気が付いたのはいつだろうか。考えよう。

【単元②】 音を追いかけて まはる三桃

『音を追いかけて』の内容を理解しよう。

●次の1～4の手順に沿って学習を進めましょう。

1 本文（教科書P20～25）を音読しましょう。

2 登場人物を書き出そう。

3 未来の気持ちの変化をまとめよう。

・先輩から「それよりもっと自信を持てよ」と言われた時。 ①

・小学生の時のマーチングクラブでの写真を見た時。 ②

・小学校の時に人一倍練習したのを思い出した時。 ③

・次の日の朝 ④

4 『音を追いかけて』の内容の空欄①～⑧に入る語句を考えましょう。

《場面について》

音楽室→① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧  
( ) ↓通学の途中

《内容の確認》

・この物語の主人公を書こう。 ② ( )

・主人公が任されている楽器を書こう。 ③ ( )

・主人公は何年生か書こう。 ④ 年生 ( )

《語句の意味を調べよう》※辞書を使って調べましょう！

|        |   |
|--------|---|
| 引きしめる  | ⑤ |
| つかの間   | ⑥ |
| ちぐはぐ   | ⑦ |
| かまびすしい | ⑧ |

※他にもわからない語句があったら裏面に調べましょう！

【単元②】 音を追いかけて

まはる三桃

『音を追いかけて』という作品全体を通して、考えたことをまとめてみましょう。

●次の1～4の手順に沿って学習を進めましょう。

1 本文（教科書P20～25）を音読しましょう。

2 未来の心情を表していると思われる箇所の中で、気持ちがよく伝わると感じた部分を、一か所抜き出しましょう。

（直接的に「うれい」「や」「悲い」と書かず、行動などから気持ちが伝わる部分です。）

3 「2」の内容で、どんな心情が伝わりますか。また、その表現を選んだ理由を書きましょう。

4 作品の感想を書きましょう。量については、書ける範囲で構いませんが、一言で終わらせず、自分の体験などを振り返りながら書いてみましょう。